

自作ビデオ教材制作に関する一考察

～教材改善のための評価方法、主に情報収集法を中心として～

研究担当者

基礎研究部
訓練適応研究室

開発研究部

下	山	敏	一
戸	田	勝	也
安	江	節	夫
高	橋	辰	栄

序 文

企業内教育および公共職業訓練において、授業にビデオ教材が盛んに活用されるようになってきている。

ビデオ教材の授業への導入は、市販ビデオの活用から始まる場合が多いが、それには飽き足らず、それぞれ特定の教育訓練の目的に適合するようにビデオ教材を自作する気運が高まっている。

しかしながら、よりよいビデオ教材を自作するにはどのような手順をとればよいか、かならずしも十分な検討がなされていない。

本研究は、企業内教育に事例をとり、実際にビデオ教材を自作し、その過程でどのようにビデオ教材の“できばえ”を決め、どのように修正すればよいか、その改善のための情報収集法を中心にして検討している。

この報告が、教育訓練の現場でビデオ教材を自作する諸先生に少しでもお役に立てば幸いである。諸先生からの御意見、御助言を頂ければ研究担当者にとって無上の励みになると思います。

昭和61年 3月

職業訓練研究センター

所長 多賀谷 敏 夫

訓研調査研究資料

第64号

自作ビデオ教材制作に関する一考察
～教材改善のための評価方法、主に情報
収集法を中心として～

発行 1986年3月

発行日 職業訓練研究センター
所長 多賀谷 敏 夫
〒229 神奈川県相模原市相原1960
電話 0427-61-9911(代)

印刷 (有) 藤本総合印刷
相模原市田名3039-30
電話 0427-62-9501(代)